

# こどもあそびばプロジェクト vol.1

## 記録

日時：平成29年10月1日（日）午前11時～午後2時

場所：豊島区立雑司が谷公園

参加：住民のべ40人弱

10家族+たまたま立ち寄った親子2組+若者2人

子どもたちは、保育園～幼稚園中心。一部、小中学生。

備考：とうきょうプレイデーのサテライト会場としての認定も受けての開催

※とうきょうプレイデー：毎年10/1「都民の日」に、「<遊ぶ>を祝おう！」を合言葉に、すべての子どもたちが豊かに遊べる環境づくりの大切さを啓発するキャンペーン。

2013年にこどもの城（渋谷区）をメイン会場に開始、今年五回目を迎える。会場は昨年60か所まで増え、これまでの4年間でのべ12,000人以上の子どもと大人が参加した。

（別添資料参照）

その他：豊島区子ども家庭部子ども課、鈴木様、会場来訪。

開催のねらい：

多すぎる車の交通量、管理責任への不安、ケガの心配、多忙なスケジュールなどから、子どもたちがふだんの生活の中で遊べる機会がいつの間にか少なくなっている現在、子どもたちが、それぞれのやりたいことを、のびのびと追及して遊べる場所を地域につくる。

準備：

敷物、シャボン玉用具（食器用洗剤、のり、うちわ、棒と毛糸）、段ボール、テープ、絵具、カレンダー裏紙



活動内容：

### ●シャボン玉あそび

→大きなシャボン玉は、大人も夢中に。こどもも、挑戦。

→中1女子がかなり集中して大きなシャボン玉を作って、みんなが感心。

→ちいさな子どもが大きなシャボン玉にチャレンジする姿も。

○年齢を問わず、ほとんど全員が楽しむことができた。

●なわとびあそび

→保育園児二人を中心に

●ブランコや、滑り台など公園の遊具をつかったあそび

●絵具でおえかき

→絵具をみつけた子供の提案ではじめる。シートの上で、カレンダーの裏紙に。

→牛乳パックや、サランラップの芯など、ほかの物にもかく子どもも。

→1歳児が、お母さんの持つ紙に筆で描く姿も。

○家だと、汚れるからなかなか思い切ってさせられないけれど、外だと気にならないからいいよね、という親御さんの声もあり、このような機会をつくってよかったな、と思いました。

●昼ごはん

→サンドイッチなどを各自、敷物の上で。

○ごはんを食べたり、くつろげる場所があると長く遊ぶことができる

●たけとんぼ遊び

●ロボットのお面あそび（プレイデーマン）

→とうきょうプレイデーの共通イベント、プレイデーマンをつくってみる

→大人がつくって、頭にかぶって、こどもをおいかけっこ。怖い様子で、盛り上がる。

→途中からは、こどもがかぶって遊ぶすがたも

●三輪車・ストライダー遊び、かけっこ遊びなど



ふりかえり：

○天気にも恵まれ、楽しむことができた。雑司が谷公園の鉄棒前の大きな木の木陰に敷物をしき、気持ちよく楽しむことができた。

▽この木は工事でなくなるのだろうか？気持ちよい木陰を作るこの木、残してほしい。

○水道があったので、シャボン液や絵具、土や食べ物で汚れても、すぐに洗うことができてよかった。

▽蛇口は押している間のみすごい勢いで水がでるタイプのもので、服がぬれてしまったり、特に子供には使いにくかった。新しい公園ではもう少し使いやすいものだといい。

○敷物を用意したので、大人はその上でくつろいだり、子どもたちがお絵描きできたりしてよか

った。

○中学生のお姉さんが無心に大きなシャボン玉をつくる姿に触発されて、小さい子が挑戦する姿もみられ、ささやかながらも、「子どもがやりたいことに挑戦してみる」場所がくれた。

○絵具を使ったカレンダーの裏紙へのお絵描きは、「家だと汚れるから、なかなか思い切ってされられないが、外だと気にせずできていい」という親御さんの声もあり、このような機会をつくってよかった。

次回予定：

2017年11月5日（日）11時～15時、旧高田小跡地

出張プレーパーク（豊島区事業）として開催